

紀南高等学校



「Myまっぷラン+」の活用状況と普及のための対策、及び避難の課題に対する対応について

2年前の「みえ高校生県議会」で常任委員長から紹介された「Myまっぷラン+」をもとに本校の津波避難計画を見直しした結果、県道を横断する避難ルート上に横断歩道がなかったり、避難場所が使用できなかった場合の2次避難場所の想定がなかったりなど、多くの課題が見つかりました。

荊原 広樹 議員

質問の調査から作成まで本当にお疲れさまでした。議場でもしっかり発表できていて感謝しています。他に地域の課題などがあれば、ぜひ三重県議会に気軽にご相談下さい。今後の活躍を期待しています。

津西高等学校



三重県内のバスにおける2024年問題がおよぼす影響について

現在、多くの路線バス会社では、運転手のなり手の減少や高齢化、労働時間の規制により深刻な人手不足が発生し、これに伴い多くの路線で1日の本数が大幅に減少しました。このまま人手不足が続けば運行が困難になることは明らかですが、地元では自家用車を持たない高齢者や通学途上の利用者もおり、路線廃止は利用者の生活への影響が懸念されるため、バス会社は赤字でも運行を維持しなければなりません。

東 豊 議員

身近なスクールバスの利用者視点から、県内の路線バスの現状や課題、さらに運転士不足に対する解決策まで提案していただき、素晴らしいかったです。また、公共交通の利便性が高い地域は、暮らしやす豊かな日常生活イメージでできて良かったです。

名張高等学校



AIの活用で「質の高い教育」を

変わりゆく社会の中で海外の人と交流する機会がより一層増えると思い、もっと外国の人と会話できる英語力がほしいという声が多く聞かれています。英語を話すことには大きな壁を感じており、今の英語力が不安を感じています。英語力が高いという調査結果のある福井県といった都市の学習状況を調べると、英語を長く話すことが、力の向上につながっていると考えられます。

吉田 敬華 議員

学校生活をより良いにしたいという思いにあふれた。他の生徒からも共感される質問でした。質問は、英語のアクティビティを増やすことができ、英語力の向上につながると思います。

三重県の高校生は、1人1台端末を持っていますが、危険なサイトを開いたり、ウイルスに感染したりしないようになると、教育委員会が制限をかけています。しかし、この制限があるとAIを使った英語

相可高等学校



地域の食文化を幅広く知ってもらうために

本校がある多気町には、伊勢もや次郎餅、おきん餅など、地域住民だけが知っている他地域ではあまり知られていない、魅力的な特産品が多くあります。多気町に限らず他の地域でも同じようなことはあるのではないのでしょうか。三重県を文化を振興させるためにも食文化に対する探求をしていくべきではないでしょうか。

芳野 正英 議員

地域の食文化や食文化への愛着を感じる質問ですね。現在のチラシをバナーにして用意するなど質問を「魅せる」工夫をしてみてください。昼食や休憩の時間には、他校生徒に積極的に話しかけるなど、「コミュカ」満点の明るい3人でした。

津高等学校



三重県の過疎化に対する取り組みについて

県における過疎化について、本校生徒にアンケートを実施したところ「三重県は過疎化が進んでいると思う」という回答が約9割の人が「はい」と答えた一方で、約7割の人が県の政策が取るべきこと（以下「HP」）や広域を見直し、約9割の人が県の過疎化に対する取り組みを知らないとの結果となり、県の政策は若い世代を中心に浸透していません。その原因として、県のHPで政策の取り組みページを見つけるのに時間がかかることがあり、掲載する要綱等に具体性を付せたり、知れた1情報にすぐたどりつけたり、学生向けHPへ切り替わったりするような仕組みを作っていくべきです。

伊藤 雅彦 議員

三重県の過疎化に危機感を持ち、校内アンケートや体験を通して具体的な対策を提案されたことは見事でした。また、その原動力が郷土愛であることは感動しました。皆さんと出会い、三重の未来は明るいと思う。ぜひ皆さんと協力して、これからの未来を一緒に輝かしてください。ずっと応援していきます！

セントヨゼフ女子学園高等学校



三重県の医師不足を解消するには

「三重県医師確保計画」により、三重県の医師の数は増加傾向にあります。しかし依然として医師不足の状況が続いており、県内の医師確保は重要課題となっています。大学教育の見直しについて、「地域医療」をテーマにした講義や全29市町での教育実習、へき地・離島の医療機関での体験学習をコーディネートするなど、三重県における教育の充実に取り組むことが、地域医療の担い手の育成に努めています。さらに地域大学への一部について、将来医師不足が予想される診療科での勤務制度を設けました。また三重県地域医療研修センターでは、令和5年度までに県内外の病院から390人の若手医師を受け入れています。

辻内 裕也 議員

お二人の質問は県の医師不足の要因について多面的に考察され、AIを活用した遠隔診療等、具体的な提案も盛り込まれ、県議会の一般質問として十分な質を確保して完成度の高いものとなりました。ありがとうございました。

勤務環境の改善に向けては、県独自の「女性が働きやすい医療機関」認定制度により医療従事者が働きやすい環境づくりを促し、子育て医師等復職支援事業を通じて、産後休業等への就業復帰や院内保育所の運営支援を行っています。

津田学園高等学校



三重県の観光・バリアフリーについて

伊勢志摩地域では、バリアフリーマップの配布や障がい者用トイレなどの情報を発信し、バリアフリーに取り組んでいます。また、街全体で障がい者も温かく迎えてくれる雰囲気があるので、外出に準備しなくても家族も気兼ねなく観光ができ、安心して楽しめます。こうした取り組みを県全体に広めることで、県外や海外へ障がいのある方にも受けやすくなり、全ての方々に魅力ある三重県を観光していただけます。

藤根 正典 議員

家族旅行という実体験から、バリアフリー観光をテーマに選んだことがよかったです。再質問で、誰でも安心して温泉に入浴できる「使い切り入浴着」の普及や、障がい者への対応などについて、具体的な提案まで進めてくれたこととてもよかったです。

津工業高等学校



一人一台端末を使った学習環境の改善について

全校生徒へのアンケート調査の結果、1人1台端末の日常使用について、4つの問題意識を持ちました。1目下、登下校時における破損や悪天候での故障、教科書等と合わせ大量で、持ち運びの負担が大きいです。2目下、中学校では校舎内に保管・充電ボックスがあり学校で管理されていますが、高校では自己管理であり学校内で充電ができず困ることがあります。3目下、端末を使用することが目的化してしまい、数学の平方根やグラフなど、ノートやプリントのほうが有効な学習まで端末が使用され、学習の効率が悪いと感じる場合があります。

小林 正人 副議長

生徒や教員の皆さんが端末を効果的に活用するための環境整備について、全校でのアンケートを行い、4つの問題意識と2つの改善策を提起していただきました。大変実現に即した内容でした。受け答えも元気一杯で素晴らしいです。

みえ夢学園高等学校



公共交通機関の不便さについて

皆さんの公共交通への関心の高さを認識しました。通学での利用や移動手段を持たない多くの高齢者など地域の実情に応じた移動手段の確保の取り組みが必要となります。昨年年度は、住民のニーズに合わせて乗合運送を行うドコモ型型交通の実証事業などに取り組む5市町に財政的な支援を行いました。また、国・県・市町が一緒に、市町が実施する地域公共交通の課題を共有し、解決に向けた方策の検討を進める場を設けています。今年度はライドシェアの実証事業を行う5市町に対して財政支援を行っています。

松浦 麗子 議員

地域課題である公共交通機関の不便さについて、高校生視点から具体的な取り上げ、高齢者等多様なニーズに配慮した改善提案は素晴らしいと、地域全体に有益であり共感を得るものでした。昼食時の交流では、将来の夢を拝見し楽しい時間を過ごしました。

高齢者や外国人、普段あまり使わない人のために、乗り場が多い駅やバス停に分かりやすい案内板などを設置する予定はあります。アイコンメニューにあるような見出し付きの大型タブレットで外国語にも対応できるようにしてはどうでしょうか。

四日市高等学校



人口減少対策としての結婚に結びつく支援制度について

県は、未婚率の上昇を少子化の要因の1つと捉え、「みえアウトリーチサポートセンター」を設置して相談支援や市町・企業・団体による出会いイベントの開催を促進しているほか、結婚を希望する方のマッチングをお手伝いする「みえの縁むす地域サポート」を募集するなど、結婚を希望する方の多様なニーズに応じた出会いの支援に取り組んでおり、今後も一人一人寄り添った効果的な出会い支援の事例研究を進めたいとの意向を示しています。

龍神 啓介 議員

結婚率と出生率の関係を分析し、他例も示しつつ、メタバース婚活支援を提案する新しいアプローチ。価値観を押し付けてはならない。説明会ではやや不安そうでしたが、堂々と質問できて素晴らしい素晴らしいです。

伊勢高等学校



森林の有効活用と意識改革

世界では1分間に東京ドーム2つ分の森林が消えており、森林の破壊は野生動物の絶滅や地球温暖化につながります。一方で、森林を保全することは水や水不足を抑制したり、海洋環境を豊かにしたりとさまざまなメリットがあり、健全な森林を育むには森林の効率的な活用が必要です。しかし、県にはまだ整備されたという森林が少なく、土砂崩れを誘ったり、海洋環境を汚染したりというさまざまな弊害を生み出しています。

東 豊 議員

森林破壊という巨大なテーマに対し、身近に出来ることからアプローチは素晴らしいです。「三重の木つかり会」などの取り組みが、森を身近に感じ、森を大切にしようとする意識を醸成しているように感じます。

議長のコメント

議会活動や日々の議員活動の中で話している機会が多い高校生生の声や意見を直接聴けたこと、そして「県議会が意外と身近なものだと知ることができた」という感想もいただいたのは、「みえ高校生県議会」の目的を達成していたのだと嬉しく感じています。

「みえ高校生県議会」開催後の議会の動き

皆さんの高校生ならではの視点より分析や、独自のアンケート等に基づく視力や質問や提案については、議会の議論の場を通じて反映させていきたいと考えています。

事前の説明会・相談会や昼食で参加生徒と関わった議員（広聴広報委員）から参加生徒へのコメントを記載しています。

委員長の報告

皆さんからいただいた質問や提案は、全議員に共有した後、各議員が一般質問などで取り上げさせていただきました。今回、議会全体で提案等について取り組むため、9月～10月の各常任委員会、質問や提案について委員間で討議しました。

委員間討議など

委員会では、高校生議員から質問・提案と、答弁の内容を委員長から各委員に共有しました。その後、委員間で話し合ったことについて、委員長が各議員と関係する「委員長報告」を原簿に対して報告する「委員報告」を議員に提出し、その中で、「みえ高校生県議会」の提案等を踏まえた対応を求めたものもありました。

※質問・答弁の内容は令和6年8月21日時点のものです。